

# 広島県立沼南高等学校卒業 新井 力さん(広島県東部森林組合)



新井 力さん(19歳)は、沼南高等学校園芸デザイン科を卒業後、平成31年4月に福山市の広島県東部森林組合に就職しました。沼南高等学校園芸デザイン科では、園芸技術類型に所属し、農業の基礎的な知識や技術に加え、果樹や野菜の栽培を学びました。

広島県東部森林組合では、沼南高校で学んだ農業の知識・技術や忍耐力・協調性を生かし、森づくりの仕事に関わっています。

## ○新井力さんの就農までの道

農業高校  
(県立沼南高等学校)

就農  
(広島県東部森林組合)

### 農業高校に入学しようと思ったキッカケは？

小学校や中学校でサツマイモやキュウリなどの野菜を育てた経験から、自然を相手に屋外で体を動かす仕事が向いていると考えていました。中学の先生から農業高校を紹介されたことが直接のきっかけになり、福山市内で唯一の農業科である沼南高等学校園芸デザイン科を選び、進学しました。

### 高校で学んだことは？

沼南高等学校園芸デザイン科に入学し、野菜や果樹の栽培を学びました。2年次には園芸技術類型を選択し、ブドウなど果樹の栽培技術の向上や活用方法について実習を通じて学びました。農業クラブ活動で3年次に会長を務めるとともに、全国大会にも参加しました。3年次の課題研究(ブドウ班)では「規格外ニューベリーAの販路づくり ～6次産業化できる新たな商品の開発～」と題して、研究の大切さを学びました。高校生活では往復約30kmの道のりを自転車で3年間通学しました。先生の紹介で林業を舞台にした「Wood Job」の映画を高校で知り、林業に強い関心を持ち、求人票を依頼しました。沼南高校園芸デザイン科での学習を通して、ブドウ栽培に関する基本的な知識・技術はもとより協調性・社会性・忍耐力・集中力・創造性などの力を身に付けることができました。

### 今の仕事の中でやりがいを感じることは？

- ・山の中で大きな木をチェーンソーで切る林業の仕事は、緊張感があり、気持ちいい。
- ・道路周辺の草刈りは、道路を利用する皆さんのために役立っているという実感がある。
- ・「林業の仕事は楽しい」と後輩の皆さんに伝えたい。



広島県東部森林組合(福山市御幸町)は、福山市と府中市を範囲に、森林をつくる造林事業(間伐、枝打ち、草刈等)、森林をまもる治山事業(植栽、林道工事等)のほか、苗木等の販売、林業指導、道路周辺の環境整備等を行っています。森林組合は森林組合法によって全国にあり、木材供給、国土保全、水資源涵養、環境保全、文化・教育・レクリエーションの場の提供などを行うなど、森林を通じた環境保全にとって重要な役割を担っています。森林環境税の導入により、国民全体で負担して森林を支える仕組みができ、業務も増えつつあります。